

二〇一八年五月一八日

片影に並ぶ古書肆の特価棚

なつき

二〇一八年五月一七日

リフトいま空中散歩山若葉

宏 虎

薔薇香る苑に木の椅子石の椅子

菜 々

二〇一八年五月一六日

色褪せし麦わら帽や老農夫

智恵子

白壁の蔵町通り燕来る

愛 正

道の駅日ごとレタスは大玉に

明日香

薔薇に笑む散歩の子らも保育士も

はく子

下足札いろはにほへと青葉寺

なつき

二〇一八年五月一五日

本当の色はと外すサングラス

たか子

地図になき路地に迷ひぬ街薄暑

なつき

二〇一八年五月一四日

夏霧の海を降りゆくケーブルカー

やよい

激ちある水門に蝶もつれ飛ぶ

なつき

目の手術癒えて眩しき新樹光

たか子

土堤ゆけば茅花流しが伴走す

たか子

二〇一八年五月一三日

鉄柵に凭れて赤き薔薇大輪

せいじ

茅花流し古墳の主の寧かれと

さつき

アルプスの天辺に春惜しみけり

やよい

二〇一八年五月一二日

ニイハオと店より声や街薄暑

よう子

実桜やさながら鳥のレストラン

はく子

毎日句会みのもる選・二〇一八年五月二〇日